



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

平成24年度 No.1 第 104 号 平成24年 6月12日

発行 富山県作業療法士会
会長 田 村 良 子
印刷 (株) チ ュ ー エ ツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>
富山県作業療法士会会員数：470人

合い言葉は、SI PUO FARE！「やればできるさ！」



富山県作業療法士会 会長 田村 良子

平成24・25年度の新役員が選出され、今期も会長を続けることにしました。前は一般社団法人になる時期であったため続行しま

したが、今回は一般社団法人になったことで他団体、特に県からの事業を受けることが多くなり、退職したことにより日中色々な交渉に出向くことができるのではないかと考えたからです。一般社団法人となつてからは、依頼は全て受けて立ち、作業療法とは何をするのか、どのような役割を果たすことができるのか示していく機会としています。

昨年に引き続き県教育委員会からの依頼で専門巡回相談員として特別支援教育にかかわり、さらには発達部会独自に学校支援に取り組む体制を作っています。県厚生部高齢福祉課からは地域包括支援センターへの協力事業、健康課から自殺予防事業への協力依頼が来ています。

また、県からはリハビリテーション従事者の育成事業として、毎年行っている高校生の見学会や啓発用のリーフレット作成などに助成金が出ることになりました。啓発事業として今年度から作業療法体験会も8月26日に砺波総合病院と労災病院で行います。宣伝用ポスターを作成しましたので掲示し広く知らせて下さい。念願の県士会のクリアファイルもできあがります。こんなふうにかこれまで「できたらいいね」と話していたことが実現しています。

表題は、イタリア映画「人生、ここにあり！」のキャッチフレーズです。私は、「イタリアが精神科

病院を全廃した」というのを機関誌「作業療法・30巻5号・2011年10月」で初めて知りました。イタリアでは1978年に180号法（通称バザーリア法—精神科病院から地域精神保健サービス体制への転換を唱えた精神科医バサーリアにちなむ）が制定され、入院患者に作業療法として清掃や庭仕事などの無賃労働をさせていたものを廃止し、社会協同組合という組織を結成し労働に賃金を付け、さらには病院から出て地域での就労事業へと展開していったのです。この映画は1983年、病院から出た患者たちの社会協同組合を通して、一般社会で暮らせる地域作りに挑戦した実話をもとにした愛と笑いに溢れた人間賛歌の作品です。私自身精神科病院の廃止など考えたこともなかったし、それができるということ、そして病者としてではなく人間としての生活を取り戻せるということ「人生ここにあり！」「やればできるさ！」と表現しているのだと思います。

前述したように、県士会も新しい事業に組み「やればできるさ！」を少しずつ感じています。さらに背中を押された感じがしました。私たちも合言葉にしてやっていきたいものです。また、鎌田實先生の講演「がんばらない」けど「あきらめない」～命を支えるということ～で、最後に「99%は自分や家族のためでいいのです。1%を他者のために…」と言われたのを聞き、楽に頑張れる気がしました。今年度も皆が少しずつ力を出し合って県士会を動かして行きましょう。

— 特別研修会を開催して — 「具体性」を考える —

富山労災病院 広野 弘美

去る4月1日に「第13回東海北陸作業療法学会に向けての特別研修会」が開催され、55名の方の参加がありました。研修内容は、学会発表を行った経験談を基に、発表に至った動機や意気込みについて、完成スライドを紹介しての図表の作成方法について、統計をどのように使用したらいいかという話をしました。参加された皆さんはどのように感じられたのでしょうか。「意気込みはわかる」「発表する意義も理解できる」「もっと具体的な統計や内容を聞きたい」など…アンケート結果では、「より具体性」を求めている声が多かったです。「どんなデータをとればいいのかかわからない」「どんな内容で発表すればいいのかかわからない」と聞こえてきそうな気もしました。

では、具体性とはなんのでしょうか。その答えは、今回のような研修の場ですべてを伝えられるものではないと私は思います。

私達は、日々臨床で様々な対象者や疾患と向き合っています。そして、誰もが自分の考えに信念

を持ち、悩み考えながら、時には対象者と一緒に笑い愉しみながら、よりよいアプローチの提供を心がけているはずですが、だったら、学会発表も同じかもしれません。

まずは自分で考えて行動！それが「具体性」の始まりではないでしょうか。毎日の変化を数値で捉え続けよう！事例へのアプローチを熟考し、期に分けて効果をみよう！曖昧かもしれないけれどまずはスライドのたたき台を作ろう！などなど、自分でスタートさせることこそが大切。ひとつのアクションを起こせば、次々にまた新たな考えと行動が起き、最終的には学会発表という目標に繋がると思います。

前回の東海北陸作業療法学会では、富山県士会員が一致団結し、素晴らしい学会運営がなされていました。今度の学会では、チーム富山の底力をさらに活かし、互いに刺激し合い、励まし合い、頭の中に汗をかきながら、学会発表という同じ目標に向かい達成し合ひましょう。

「第13回 東海北陸作業療法学会特別研修会」に参加して

介護老人保健施設 みしま野苑 一穂 浅野 貴子・稲田 蘭子

平成24年4月1日に富山市総合社会福祉センターで行われた「第13回東海北陸作業療法学会特別研修会」に参加しました。

平成25年11月に第13回東海北陸作業療法学会が富山で開催されます。このような好機に、富山県士会員にとってより身近な学会となり、学会参加を愉しめるよう、学会発表にチャレンジする方への支援となることを目的に研修会が企画されました。

内容は6名の学会発表経験者からの発表がありました。学会発表といっても実際、何をどうすればよいか分らず、結局、何も行動に移せずに終わっていく事が多いですが、今回の研修はその具体的な方法を丁寧に分かり易く、教えて頂きました。

中でも印象に残った内容は、①まず、発表したい内容・思っていることを全て書き出す事。②それをもとに、具体的な進め方・手段・目的を抽出する。③次にカルテの記録（症例情報・ROM・MMT・痛み・装具・自主訓練内容・作業内容

等）を参照に、項目の整理、データー化（図表・グラフ化）する。④最後に考察を考える（考察する課題を絞る、引用文献を調べる等）という事でした。

また発表のメリットを熱く語って下さいました。学会発表経験ならではの試行錯誤した経緯や学会発表時の複雑な感情を具体的に伝えて頂き、自分の事の様に想像しながら、話を聞くことができました。「患者さんとの訓練の過程を記録として残したい」と思いに共感し、奮闘しながらも訓練を続けていく中で、ふと足を止め、振り返ってみる事の重要性を感じました。

学会発表を通して、多くの人からの協力を受け、自身が臨床に立っていることを実感し、緊張感や不安感との戦いの中で、自身の成長にも繋がることも学会発表の大きな魅力ではないかと思いました。

今回の研修会で学んだことをもとに、自身の学会発表に対する意識が変わり、新たな目線で、東海北陸作業療法学会を愉しみたいと思います。

「第13回 東海北陸作業療法学会」特別研修会 アンケート集約結果

学会構想委員 小倉 努

「学会発表に向けた特別研修会」のアンケート結果を報告させていただきます。

1. 参加者

| | | |
|------|----|--------|
| 呉西地区 | 21 | 38.2% |
| 富山地区 | 21 | 38.2% |
| 新川地区 | 12 | 21.8% |
| その他 | 1 | 1.8% |
| 合計 | 55 | 100.0% |

2. アンケート提出者：臨床年数50/55 (90.9%)

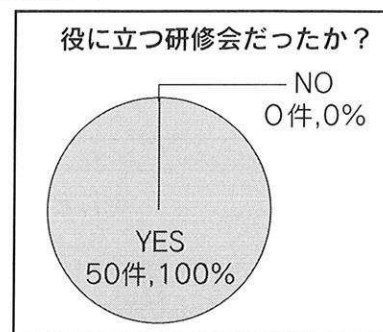
| | | |
|------------|----|--------|
| 5年未満 | 24 | 48.0% |
| 5年以上10年未満 | 13 | 26.0% |
| 10年以上15年未満 | 8 | 16.0% |
| 15年以上20年未満 | 1 | 2.0% |
| 20年以上 | 4 | 8.0% |
| 合計 | 50 | 100.0% |

3. 所属分野（重複あり）

| | | |
|-----|----|--------|
| 障害 | 32 | 61.5% |
| 精神 | 4 | 7.7% |
| 老年期 | 14 | 26.9% |
| 発達 | 0 | 0.0% |
| 地域 | 1 | 1.9% |
| 教育 | 1 | 1.9% |
| 合計 | 52 | 100.0% |

4. 発表に向けて役に立つ内容でしたか？

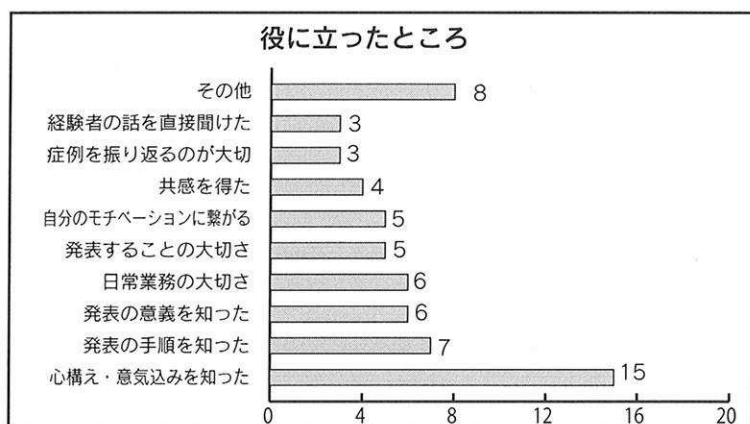
| | | |
|-----|----|--------|
| YES | 50 | 100.0% |
| NO | 0 | 0% |



5. どういうところが役に立ちましたか？（記述・重複あり）

| | | |
|----------------|----|--------|
| 心構え・意気込みを知った | 15 | 24.2% |
| 発表の手順を知った | 7 | 11.3% |
| 発表の意義を知った | 6 | 9.7% |
| 日常の業務の大切さ | 6 | 9.7% |
| 発表することの大切さ | 5 | 8.1% |
| 自分のモチベーションに繋がる | 5 | 8.1% |
| 共感を得た | 4 | 6.5% |
| 症例を振り返るのが大切 | 3 | 4.8% |
| 経験者の話を直接聞いた | 3 | 4.8% |
| その他 | 8 | 12.9% |
| 合計 | 62 | 100.0% |

その他：データ化の手段を知った。
見えるかたちにするの大切さを知った。
スライドの作り方を知った。など



6. 開催形式（重複あり）

| | | |
|-------------|----|--------|
| 講演者一人20分程度 | 38 | 71.7% |
| もっと時間を掛けて良い | 6 | 11.3% |
| 分科会 | 5 | 9.4% |
| その他 | 4 | 7.5% |
| 合計 | 53 | 100.0% |

7. 東海北陸学会で発表する計画ですか？

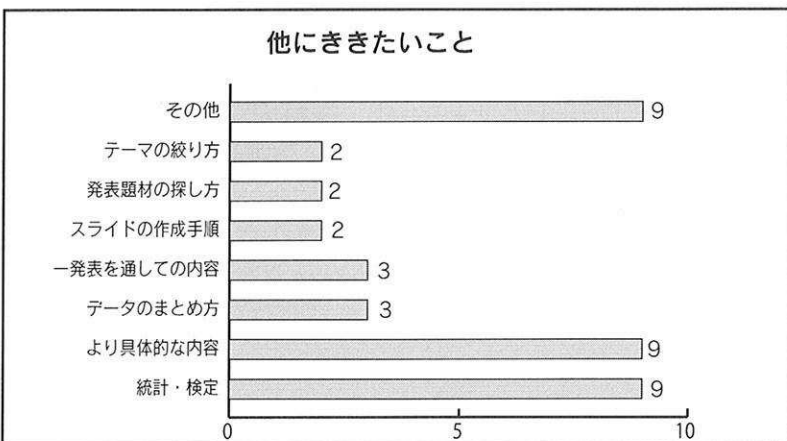
| | | |
|-----|----|--------|
| YES | 3 | 6.0% |
| NO | 35 | 70.0% |
| 無回答 | 12 | 24.0% |
| 合計 | 50 | 100.0% |

※無回答の中に、前向きな記述のあるものが4件(8.0%)YESと合わせて7件(14.0%)

8. 発表にむけて他に聞きたい内容は？

| | | |
|------------|----|--------|
| 統計・検定 | 9 | 23.1% |
| より具体的な内容 | 9 | 23.1% |
| データのまとめ方 | 3 | 7.7% |
| 一発表を通しての内容 | 3 | 7.7% |
| スライドの作成手順 | 2 | 5.1% |
| 発表題材の探し方 | 2 | 5.1% |
| テーマの絞り方 | 2 | 5.1% |
| その他 | 9 | 23.1% |
| 合計 | 39 | 100.0% |

※その他：日々の記録、院内の協力体制、失敗談、完成までの必要期間、論文の書き方、など



9. 今後、このような研修会が必要と思いますか？

| | | |
|-----|----|--------|
| YES | 49 | 98.0% |
| NO | 1 | 2.0% |
| 合計 | 50 | 100.0% |

まとめ

アンケート結果より、「役に立つ」研修会を行えたものの、「より具体的」な内容を望む声が多かった。「今研修会を機に発表へ取り掛かる」というものへの繋がりは低いと推測する。その証拠として、「発表を計画する」は3件、「発表を前向きに捉えている」は4件に留まっている。講演内容は、他では聞くことのできない貴重かつ質の高いものであったと思われる。

研修会の更なる開催については、「発表希望者（発表を前提とする者）」の要望の強さに合わせて検討する。

また、個々人がアドバイザーに直接連絡を取り、助言・指導・相談を受けるのも一案と考え、行動していただきたい。

平成24年度 第1回理事会議事録

場所：富山医療福祉専門学校

日時：24年4月9日(月)19:00～

参加者：田村、作田、丸岡、松岡、高林、橋爪、
谷口、浅生、松本、広野

以下のことについて検討し、承認された。

〈検討事項〉

1. ユニセフ・オペレーションスマイルから寄付の依頼
一般社団法人となり社会貢献の必要性はあるが、現時点での県士会には寄付を行える財源はなく見送り。
2. 富山県厚生部健康課より自殺予防に関する研修会取り組みの依頼
平成24年度自殺対策事業（案）の中の医療関係者対応力向上研修事業。50万円までの助成金で研修を委託されている。理事会と精神部会で協力し、講師・場所・日程を調整し、計画する。
3. 富山県厚生部高齢福祉課より地域包括支援センター機能強化事業に地域アドバイザーとして作業療法士の派遣依頼あり。（地域ケア会議や事例検討会への参加予定、事業着手秋頃）
県内4ブロックに分けて、各5名ずつアドバイザーを選出予定。

4. 総会の日程

6月3日(日)現職者共通研修会／事務。財務担当
者会議／総会／新人歓迎会の順に実施

5. 24年度県士会功労者表彰者

押田氏（富山赤十字病院）、放出氏（シルバー
ケア城南）、藤井氏（金沢医科大学氷見市民
病院）、清水氏（西能病院）

〈報告事項〉

1. 平成23年度県士会研修会（3月11日）アンケート結果
研修会の内容を「大変よくわかった」6%、「なんとなくわかった」92%、「その他」2%。生活行為向上マネジメントを「使用してみたい」60%、「いいえ」25%、「その他」15%など資料にて報告。
2. 「生活行為向上マネジメント」啓発普及説明会資料、「作業」の捉え方と評価・技術支援（OT協会監修、医歯薬出版）は事務局が保管する。
3. OT協会より「障害福祉における作業療法実践に関する情報提供者名簿」事務局保管し、研修会を行う際の講師依頼などに活用する。
4. PT協会より「地域におけるリハビリテーション提供のあり方に関する調査研究事業」調査報告書事務局が保管する。

5. 県議会より議長、副議長就任・退任の挨拶状郵送される。
6. 高志リハビリテーション病院整備検討委員会、3月27日に終了。PT・OT・ST県士会会長出席。
7. 東海北陸作業療法学会進捗状況
構想委員に田邊氏（みしま野苑一穂）、浅生氏（富山病院）に依頼し、承諾を得る。4月1日(日)開催された発表に向けた研修会55名参加。
8. 県OT学会進捗状況
講演とポスター発表の間の時間帯で、Activity部会に協力を依頼し、講習会を盛り込む。
9. OT協会表彰者
協会表彰：北野満氏（リハビリサービスやべ）
功労表彰：高田尚美氏（砺波総合）、森欣一氏（富山医療専門学校）、砂原伸行氏（高志リハ）。
10. クリアファイルを総会時に完成出来るようスガキ印刷に依頼している。
11. 協会・都道府県士会合同広報会議（3月18日）報告。（広野氏）

平成24年度 第2回理事会議事録

場所：富山医療福祉専門学校

日時：24年5月14日(月)19:00～

参加者：田村、作田、松岡、浅生、高林、田邊、
橋爪、松本、吉波、広野、高岡

以下のことについて検討し、承認された。

〈検討事項〉

1. クリアファイルの作成について
デザインを再度修正し3000部印刷。広報・普及活動に使用する。
2. 富山県厚生部健康課からの委託事業・自殺予防に関する研修会の開催について
今年度の臨時総会（H25年3月）の中で開催予定、講師は自殺危機初期介入スキル研究会認定講師に依頼を予定し、日程調整を図る。
3. 平成24年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業費補助金交付申請について
主に県内高校生を対象とした啓発事業（見学会・体験会）に30万円を申請。用途については、次回理事会で審議。
4. パンフレット・オペラの申し込み
会員全員が広報活動に使用できるように申し込む。
5. 富山県厚生部（担当健康課）より表彰候補者の推薦（6月22日締切）
富山県部門功労（公衆衛生事業功労）田村良子氏推薦。いきいき富山健康と長寿の祭典大会

長表彰、北野満氏推薦。

6. 総会の進行

総会開催公文書の日程にそって進行をする。

〈報告事項〉

1. 新年度役員の改選挨拶状発送済

2. 平成24年度功労表彰者決定

押田氏(富山赤十字病院)、放出氏(シルバーケア城南)、藤井氏(金沢医科大学氷見市民病院)、清水氏(西能病院)

3. 社団法人精神保健福祉協会 平成24年度第1回総会に田村会長出席

4. 富山県厚生部より冊子「新たな総合リハビリテーション病院・こども医療センター(仮称)整備基本計画」郵送される。事務局にて保管する。

5. 介護福祉士会から研修会協賛依頼と参加依頼(大川弥生氏「ICFに基づいた介護」研修会)会員へプログラム発送。

6. 生涯教育制度推進担当者 中沢知子氏に依頼

7. 東海北陸作業療法学会進捗状況

4月1日(日)に開催された研修会55名参加。参加者が記載したアンケート結果を県士会ニュースに掲載予定。



小矢部大家病院

関原 明奈

小矢部大家病院は昭和42年4月に開院しました。小矢部市の中心からも近く閑静な住宅街の中にあります。近くにはクロスランド小矢部や小矢部川河川敷があり、天候の良い日には散歩に出かけたりと憩いの場として利用させていただいています。

当院の概要は全170床であり、精神療養病棟100床、精神科リハビリ病棟36床、内科療養病棟34床を有します。

現在リハビリスタッフはOTが3名おり、精神科作業療法に1名、二病棟ある精神療養病棟にそれぞれが専従作業療法士として1名ずつ付属・担当させていただき、活動を行っています。

『安心して療養できる場を提供する』を病院理念に掲げ、病棟毎に患者の皆様のニーズに合わせた特色のあるリハビリテーションを展開しております。

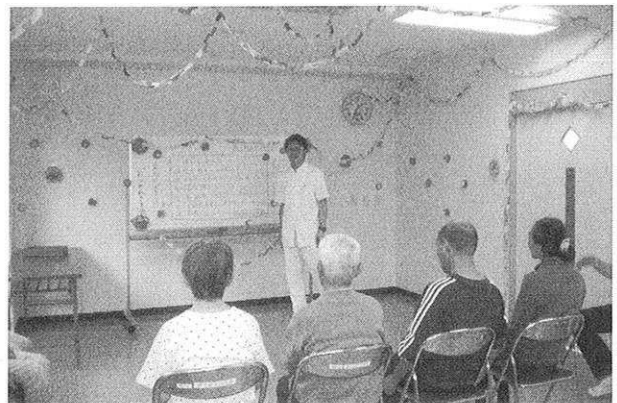
精神療養病棟の1つは閉鎖病棟であり、男女混合病棟となっています。加えて30歳代から80歳代までの幅広い年齢層であることから、まるで3世代が同居しているようなほのぼのとした雰囲気が特徴です。もう1つは「ひだまりの庭」と名のついた病棟で認知症の方が多く入院されています。どちらの病棟も作業療法士も含めた病棟スタッフが趣向を凝らした毎日のレクリエーションのほか、季節の行事(お花見・納涼祭・クリスマス会・書初め大会など)を行っています。

精神科リハビリ病棟では作業療法のほかに、患

者ミーティングプログラム桜花“オウカ”(大家“オウカ”と謳歌“オウカ”が掛かっている)を行い、入院生活において不便や不満に感じていることを患者同士で話し合う機会を設けています。また、平成21年6月より退院支援プログラム「まんさく」(幸福の再来という花言葉を持つ花の名前から由来)を立ち上げ、日はまだ浅いのですがプログラムから6名の方がすでに退院され地域生活を送ってられます。

内科療養病棟では専属のリハビリスタッフはいませんが、慢性期、終末期の患者様が安心して入院生活を送れるよう信頼と思いやりのある看護をモットーに日々のケアを行っています。

正直、当院はマンパワーが足りているとは思えません。だからこそ、病院スタッフが一丸となり患者の皆様が“その人らしい”生活を送れるよう、日々模索しながら連携を取り、援助を行っていきたいと思います。



開業奮闘記(その8ー花に囲まれた内見会)

リハビリ・デイサービスおやべ 管理者 北野 満

ゴールデンウィークもあっという間に終わり連休明け初日はスタッフ5人の初顔合わせを兼ねてのミーティングの日となった。簡単な自己紹介の後、早速今後のスケジュール、物品の購入など細かく打ち合わせを行った。そのあとも毎日二人くらいずつ出勤してもらい書類作成などの準備に追われた。

5月中旬にスタッフ全員半日ずつ富山市の介護予防メディカルケアでの研修を行い、間近にリハビリ特化型デイサービスを体験できた。そのあと県の高齢福祉課の現地調査、ケアマネ説明会、消防の査察など準備がぎりぎり期限に間にあったがひやひやの連続であった。特に小矢部市のケアマネへの当施設の説明会はまだ介護保険を熟知していない身としては質問にうまく答えられず苦慮し

た思い出がある。

5月25日スタッフみんなで近所の居酒屋で決起大会を行い、間近に迫った内見会と開設初日に向けて意思統一し酒の力で自らに気合いを入れた。

そして5月29日の内見会を迎えた。市内外のケアマネ、近所の住民の方々、利用希望の方など多くの人に来て頂いた。内見会には県士会関係の方々の祝いも含めてたくさんの生花、観葉植物などを飾ることができ、華やかなスタートを感じることが出来た。…感謝である。

5月31日、スタッフ全員で明日の準備と最終打ち合わせを行い、午後に県の高齢福祉課から事業所番号を頂き、ついに6月1日、念願のオープンを迎えることになった…。

渉外部より 他団体からの講師や委員等の派遣依頼が増えてきています。会員の皆様の日頃の臨床で培った知識・技術を様々な場面で発揮して頂きたいと思います。一般社団法人として、地域・県民に貢献できるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

福利厚生部より 今年度は会員の親睦をはかる場として懇親会を開催します！新川・富山・高岡の各地区でそれぞれ行いますので、お近くでの開催の際にはぜひご参加下さい。日時や会場については未定ですので、別途お知らせいたします！

発達部会より

日時：平成24年8月4日(土)もしくは8月5日(日) (講師に確認中) / 場所：富山医療福祉専門学校
テーマ：「読み・書きにつまづきがある子どもの具体的な支援」

講師：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 加藤 寿宏 先生

定員：70名 / 参加費：3,000円 (半日2,000円) / 対象：OTと学校の先生

※詳細は決まり次第、県士会HPにも掲載予定。参加されたい方でお聞きになりたい事があればあゆみの郷OT熊谷までご連絡下さい。

E-mail:rihabiri@ayumi-toyama.jp TEL:(076)467-4477 FAX:(076)467-4478

普及指導事業部より

施設見学会開催

日 時：平成24年7月17日(火)～8月3日(金) (土日除く)

対 象：県内の高校生 (作業療法士養成校に進学を検討している者)

連絡先：矢後病院 TEL:0766-22-5703 FAX:0766-26-8319

作業療法体験会開催

日 時：平成24年8月26日(日)10:00～12:00

場 所：呉西地区：私立砺波総合病院 / 呉東地区：富山労災病院

対 象：県内の高校生および保護者、高校教員

連絡先：呉西地区担当：作田清子 TEL:0763-32-3320

呉東地区担当：広野弘美 TEL:0765-22-1280

皆様のご協力をお願いいたします。

現職者研修のお知らせ

新しく協会に入会された方は、「生涯教育制度」に沿って、入会から5年以内に「現職者共通研修」および「現職者選択研修」を受講終了することが望ましいとされています。

これらは、作業療法士として継続的な自己研鑽を支援するための、最初の必須研修になっています。

富山県作業療法士教育部では、平成24年度の「現職者共通研修」「現職者選択研修」を以下の日程で開催予定しています。

I. 現職者共通研修：10テーマ

| 予定日 | テーマ | 場所：富山医療福祉専門学校 |
|------------------------|--------------------|----------------|
| 2012.6.3(日) | 1. 作業療法生涯教育概論 | 時間：9：30～11：00 |
| 2012.8.6(月) | 2. 作業療法における協業・後輩育成 | 時間：13：30～15：00 |
| 2012.7.5(木) | 3. 職業倫理 | 時間：13：30～15：00 |
| 2012.7.5(木) | 4. 保健・医療・福祉と地域支援 | 時間：15：10～16：40 |
| 2012.7.22(日) | 5. エビデンスと作業療法実践 | 時間：10：30～12：00 |
| 2012.8.6(月) | 6. 作業療法の可能性 | 時間：15：10～16：40 |
| 2012.7.22(日) | 7. 日本と世界の作業療法の動向 | 時間：13：00～14：30 |
| 2012.7.22(日) | 8. 事例検討方法論 | 時間：14：40～16：10 |
| 富山、高岡、砺波、 新川地区ごとに開催 | 9. 事例検討 | 場所や回数は未定 |
| | 10. 事例報告 | |

II. 現職者選択研修：90分4コマ

| 予定月日 | テーマ | 場所・時間 |
|---------------|-------------|---------------------|
| 2012.11.18(日) | 精神障害領域の作業療法 | 富山医療福祉専門学校 時間は未定 |

参加される方は、下記のアドレスに必ずお申し込み下さい。

また、未定な部分および詳細等については、県士会ホームページまたは、県士会ニュースに掲載しますので、随時ご確認下さい。

申し込み先・連絡先

ゆりの木の里 職業指導員（作業療法士）能登 健司

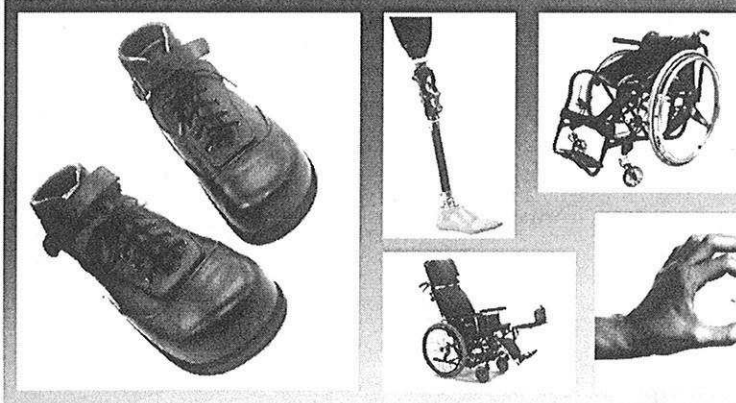
TEL：076-433-4500 FAX：076-433-4527

E-mail toyama.ot.kyouikubu@gmail.com

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

オーダーメイド靴 製作

車椅子・スーパ・補聴器

福祉用具貸与販売

あの日の、音風景がよみがえる感動補聴器

Oticon | Agil

アジャイル



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425 - 4279

FAX (076) 425 - 4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- | | |
|---------|-----------|
| ○手芸糸 | ハマナカ |
| ○刺し子 | オリムパス、ナスカ |
| ○ビーズ手芸 | トーホー、ミュキ |
| ○マクラメ糸 | ダルマ、川端 |
| ○ちりめん手芸 | 東芸 |
| ○その他 | S.M、M.B他 |
- 各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

理学療法士・作業療法士 募集

病院理念『その人らしく生きる』
を共に追求してみませんか！！

病院の特徴

- 脳卒中を中心とした脳疾患リハビリ
 - 脳外科専門医+リハビリ専門医
 - 急性期～亜急性期75日の退院支援プログラム
 - 生活行動回復看護プログラムとの協働
 - 訪問リハ、短時間通所リハの切れ目ない在宅支援
 - FESを用いた、上肢機能向上プログラムの展開
- ※新川地域の在宅療養支援病院として、
さらなるリハビリ部門の拡充を目指します！！

現在の 一般病床48床(内亜急性病床24床) 15名
配置人数 通所リハビリテーション『向日葵』 2名
訪問リハビリテーション 1名

募集人員 理学療法士、作業療法士 各5名
休日 月10日、年間120日(年次有給休暇別途)
待遇 当法人規定による、各種手当、住宅手当別途
その他:研修費助成制度あり

病院見学・詳細内容のお問い合わせ先 大角(おおがく)まで

脳神経外科 神経内科 整形外科 リハビリテーション科



医療法人社団 秋桜 **丸川病院**
〒939-0743富山県下新川郡朝日町道下862
<http://www.marukawa-hp.com>

TEL 0765-83-3391

賛助会員名簿

(順不同)

| 会員名(代表者) | 住所 | 備考 |
|------------------------------------|--|-------------------|
| 温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰) | 〒939-8075 富山市今泉2-20 TEL076-425-1166 | |
| (株)ウイル (代表取締役 山口裕二) | 〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099 | |
| 酒井医療(株) 金沢オフィス (リーダー 小木章) | 〒921-8036 金沢市弥生2-6-16 1F TEL076-241-5721 | |
| 平野重喜 | 〒930-0008 富山市神通本町2-3-7 TEL076-432-6617 | (有) クラフト 工房 |
| 富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦) | 〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001 | |
| (有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規) | 〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444 | |

編集後記

皆さん、TVでもよくお目にかかるので池上彰さんをご存じかと思いますが、「伝える力」という本を出していることもご存じでしょうか？一時、話題にもなっていたので読まれたという方も多いかもかもしれません。作業療法士は、人と関わる仕事であり、また、私個人としては、県士会で広報部会に所属しホームページ作成を行っていることもあり、日頃より、分かりやすく人に伝えられることの重要さを感じています。その著書の内容を、少しご紹介すると、分かりやすく伝えるポイントとして、難しいことも簡単に表す、「それから」などの接続詞は出来るだけ使わない、もう一人の自分を持つ(客観的に見る目を育てる)、文章は寝かせてから見直す、また、伝える相手に対しては、目を見て話す、相手の「へ〜」を増やす(相手の興味を引く)などが挙げられていました。聞けば、ごく当たり前のようなことですが、あらためて大切だと思えることが多くあり、また、今ご紹介した部分はほんの一部でしかないのですが、本書を通して思う重要なことは、「どう表現するか」という自分中心の視点だけでなく、「相手にどうしたら理解してもらえるか？」という相手の立場になって考えられる視点なのかなと感じました。これは、私たちの職業柄だけに留まらず、延いては人生の中でも大切なことだろうと思います。大きな話になりましたが、まずは身近なところで、また明日、関わる利用者の方々に対して、安心、信頼してもらえるよう、今後も「伝える力」を心がけていきたいと思っています。

D・T